

編集後記

本誌は査読制を布いている。雑誌における査読は二重の機能をはたす。雑誌側からみれば投稿論文に対する自己の学術的的定位であり、投稿者側からみれば自らの研究の監視である。

雑誌は投稿論文の採否を通して自己の水準を露にする。良質の研究を掲載することでその学術的価値を高め、採否を誤ればその価値を貶める。雑誌にとって原稿の採否決定は微妙な問題解決課題である。こういう逸話がある。ある一流雑誌の編集長が一編の原稿を不採択とした。この原稿は後日、水準の低い別の雑誌に掲載される。そして後年、研究の流れを大きく変えるほどの役割を果たす。この例は、編集者に、そして査読者に投稿者以上の知的緊張と知的誠実、そして何よりも深い学識が求められることを示す。

投稿者は雑誌への投稿によってその研究の学術的価値を問う。査読者から返される多種多様な批判は自分の研究を確認し、監視していくための貴重な手がかりを与える。この批判は投稿者にとっては教師の役目を果たす。とくに、その批判が当該研究分野の第一人者から返された場合、現時点で得られる最高の教師に巡り会えたことを意味する。投稿という場合は、この意味で、見知らぬさまざまな優れた教師との出会いである。このことをある雑誌の新任編集長は次のように述懐した。「学生時代は指導教員から教えを受けた。しかし、職を得てからは雑誌の査読者が自分の教師だった。」

本誌の査読制が十全に機能することを願う。投稿者と査読者の間の知的相互作用が両者を磨き、本誌が医療福祉学の指導的雑誌とならんことを願う。

編集委員 永田 博

川崎医療福祉学会誌

平成20年1月25日発行

発行者 岡田喜篤
発行所 川崎医療福祉学会
〒701-0193 倉敷市松島288
印刷者 西尾源治郎
印刷所 西尾総合印刷株式会社 横井支店
〒701-1145 岡山市横井上90
連絡先 川崎医療福祉大学 中央教員秘書室
〒701-0193 倉敷市松島288
TEL 086-462-1111 内線54095
086-464-1010 (直通)
FAX 086-463-3508